

# 2023年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年8月29日

上場会社名 東和フードサービス株式会社  
 コード番号 3329 URL <https://www.towafood-net.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岸野 誠人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 長谷川 研二  
 四半期報告書提出予定日 2022年9月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-5843-7666

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年4月期第1四半期の業績(2022年5月1日～2022年7月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年4月期第1四半期	2,563	38.2	115		123	78.5	73	81.4
2022年4月期第1四半期	1,854	39.6	252		573		396	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年4月期第1四半期	9.16	
2022年4月期第1四半期	49.16	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年4月期第1四半期	7,874	5,700	72.4
2022年4月期	8,519	5,675	66.6

(参考)自己資本 2023年4月期第1四半期 5,700百万円 2022年4月期 5,675百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年4月期		4.50		6.00	10.50
2023年4月期					
2023年4月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2023年4月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。今後配当予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

## 3. 2023年4月期の業績予想(2022年5月1日～2023年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,573	22.9	58		48		54		6.72
通期	9,400	14.0	22		26	97.9	8	98.9	0.99

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年4月期1Q	8,186,400 株	2022年4月期	8,186,400 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年4月期1Q	116,798 株	2022年4月期	116,798 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年4月期1Q	8,069,602 株	2022年4月期1Q	8,069,602 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期の業績は、売上高25億63百万円（前年同期比38.2%増）、営業利益は1億15百万円（前年同期は営業損失2億52百万円）、経常利益は1億23百万円（前年同期比78.5%減）、四半期純利益につきましては、73百万円（前年同期比81.4%減）となりました。

月別売上高前年対比は5月155.4%、6月137.1%、7月124.9%と推移しております。

7月中旬から新型コロナウイルス感染症第7波の影響により来店客数が減少しておりますが、引き続き店舗においては感染症対策マニュアルに沿った予防措置を徹底した営業を進めております。

コロナ禍で注力している事業では、物販売上比率20%という目標達成にむけた販売チャネルの拡大や利便性の向上を図っており、店舗でギフト商品などを購入したお客様に配送するサービスや、椿屋オンラインサイトで購入された商品を店舗で受け取れるサービスを開始しております。

また、贈答用に購入される機会の多いマドレーヌやフィナンシェといった焼き菓子の長期保存を可能とするための開発を行い、焼き菓子の賞味期限をこれまでの40日から90日に延長することが出来ております。

8月30日からは、イオンスタイル新浦安店におきまして、ラインアップを拡大しているスパゲッティ、ピッツァ、グラタン、シチューなど全14種類の冷凍商品販売を開始しており、今後の展開に向けて物販商品の開発に注力しております。

7月28日 当社は2023年4月期から2025年4月期の中期経営計画を公表いたしました。

出店戦略においては、ウィズコロナ時代の職住近接に対応した臨都心へのリロケーション、のれん分け、FC展開を進めることを軸に、コロナ前の120店舗に戻します。また新規事業として立ち上げた食物販事業の拡充を進めるため、販路の拡大に努めてまいります。そして機械化・効率化による生産性向上を図るため、店舗では自動釣銭機を備えたレジへの入替えや増設、生産工場では製造スペースを拡充し、生産性向上設備への投資を進めていきます。人材確保と定着率向上の課題においては、研修センターの創設によって座学での知識習得をさらに進め、研修店舗ではトレーナーがOJTで指導する仕組みを構築してまいります。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて5億87百万円減少し、40億71百万円となりました。これは、現金及び預金が3億36百万円減少したことなどによりです。

固定資産は、前事業年度末に比べて56百万円減少し、38億3百万円となりました。これは、建物が39百万円減少したことなどによりです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて6億44百万円減少し、78億74百万円となりました。

#### （負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて6億84百万円減少し、9億33百万円となりました。これは、未払法人税等が4億17百万円減少したことなどによりです。

固定負債は、前事業年度末に比べて15百万円増加し、12億41百万円となりました。

この結果、負債合計は、21億74百万円となりました。

#### （純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べて24百万円増加し、57億円となりました。これは、当期純利益の計上73百万円があったことにより、利益剰余金が25百万円増加したことなどによりです。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月30日に公表いたしました、2023年4月期の業績予想に変更はありません。業績予想につきましては、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,699,254	3,362,449
売掛金	173,393	166,309
SC預け金	263,879	276,077
商品及び製品	39,970	36,784
原材料及び貯蔵品	123,307	115,664
前払費用	114,224	108,807
未収入金	245,805	6,120
その他	74	53
貸倒引当金	△409	△425
流動資産合計	4,659,501	4,071,840
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	732,154	692,807
機械及び装置(純額)	117,833	112,447
工具、器具及び備品(純額)	182,059	175,155
土地	530,000	530,000
リース資産(純額)	3,876	3,243
建設仮勘定	4,737	4,774
有形固定資産合計	1,570,659	1,518,429
無形固定資産	19,183	18,054
投資その他の資産		
投資有価証券	34,819	34,104
出資金	320	320
長期前払費用	22,837	20,199
繰延税金資産	368,484	368,812
差入保証金	417,402	417,402
敷金	1,425,865	1,425,787
投資その他の資産合計	2,269,730	2,266,626
固定資産合計	3,859,573	3,803,110
資産合計	8,519,074	7,874,951

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	221,467	209,983
リース債務	2,230	1,884
未払金	598,187	350,016
未払賞与	91,154	—
未払費用	88,100	79,917
未払法人税等	467,042	49,553
未払消費税等	72,008	109,615
前受金	—	18
預り金	23,179	31,390
資産除去債務	49,527	40,547
前受収益	4,842	4,985
賞与引当金	—	55,500
流動負債合計	1,617,742	933,411
固定負債		
長期借入金	600,000	600,000
リース債務	2,264	1,915
退職給付引当金	356,218	362,917
資産除去債務	246,315	255,295
その他	20,984	20,984
固定負債合計	1,225,783	1,241,112
負債合計	2,843,525	2,174,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,306,350	1,306,350
利益剰余金	4,411,327	4,436,825
自己株式	△100,642	△100,642
株主資本合計	5,667,034	5,692,532
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,514	7,894
評価・換算差額等合計	8,514	7,894
純資産合計	5,675,549	5,700,427
負債純資産合計	8,519,074	7,874,951

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)
売上高	1,854,898	2,563,134
売上原価	562,462	697,485
売上総利益	1,292,436	1,865,648
販売費及び一般管理費	1,546,598	1,749,716
営業利益又は営業損失(△)	△254,162	115,932
営業外収益		
受取利息	2	37
受取配当金	265	286
受取家賃	6,679	7,414
助成金収入	821,459	—
その他	1,325	1,745
営業外収益合計	829,732	9,483
営業外費用		
支払利息	1,001	317
不動産賃貸原価	1,187	1,335
その他	295	293
営業外費用合計	2,484	1,946
経常利益	573,085	123,468
特別利益		
受取補償金	100,148	—
特別利益合計	100,148	—
特別損失		
固定資産除却損	448	—
店舗閉鎖損失	1,982	—
減損損失	2,641	—
特別損失合計	5,072	—
税引前四半期純利益	668,161	123,468
法人税等	271,485	49,553
四半期純利益	396,675	73,915

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。